

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和2年 3月 30日

事業所名：すこやかキッズランド神戸北

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員数にあったスペースを確保している。	十分という声が多かったが、どちらとも言えないの回答もあった。	整理整頓に気をつけ活動に合わせ快適に過ごせるよう工夫していく。
	2 職員の適切な配置	安全を第一に適切に配置を行っている。	わからないの回答もあったが2人に1人の職員がついてくださるので安心の評価もあった。	安全安心の空間のなかで子どもたちが過ごせるよう努力する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ワンフロアで全体が見渡せ、視覚からの刺激が少なく落ち着いて生活できるシンプルな作りになっている。	「はい」というお答えが多かったがわからないの返答もあった。	日々の生活の中、声かけや絵カードなどで遊ぶスペースなどが認知できるよう支援していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清潔を保てるよう毎日清掃を行っている。活動に合わせて机を動かすことで室内でも運動遊びを楽しむことができる。	「はい」とお返事を頂き、「心地よく活動できている」とお声を頂いた。	引き続き清潔で安全な施設環境を整えていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的な職員への聞き取りを行い、問題定義等があれば話し合いを行っている。		職員と定期的にモニタリングを行い評価をまとめ支援計画に生かすよう努めていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていない。		第三者による外部評価はないが子どもたち、保護者の方が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社員全体で集まり、研修(虐待防止など)を行っている。		引き続き定期的な研修を行い、外部の研修への参加も積極的に参加する。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画前に保護者からお家での様子や希望を伺い適切に反映させるよう努めている。	丁寧な支援計画が作られていると返答が多かったがどちらとも言えないの回答もあった。	保護者の方からニーズ、お家での様子を伺い、個々の子どもの現状・発達段階に合わせた計画書作成に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動では協調性、社会性を育めるよう、また個々の課題を発達段階に応じ職員間で話し合い作成を実施している。	丁寧な支援計画が作られていると返答が多かったがどちらとも言えないの回答もあった。	引き続き個々の支援と集団生活に対する支援の内容を含めた計画書を作成する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員への聞き取り発達段階に応じた支援内容の記載に努めている。	知育、リトミック、トランポリンなど様々なプログラムで工夫されていると、お声を頂いた。	引き続き発達段階に合わせた具体的な支援内容の記載に努める。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が計画内容を周知し適切に実施している。	実施してくれているの声が多かったが、もっと詳しく知りたいの声もあった。	活動の目的なども説明し計画に沿った支援であることを説明していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員と定期的に子ども一人ひとりの成長と課題をまとめ支援内容、活動内容を決めている。	出来ている声を言頂いた。	引き続き職員から、個々の子どもの課題に対しての成長や現状の聞き取りを行っていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園と併用の児童の長期休みの時などは利用希望を取るなどできるだけ利用していただけるよう配慮している。	出来ている声を言頂いた。	引き続き保護者のニーズに沿った支援を心がける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節に合わせた制作で発達段階に応じ糊やハサミなど楽しみながら微細運動など楽しめるように努めている。	出来ている声が多かったが、分からないのこえもあった。	引き続き季節を感じたり、集団で遊ぶ楽しさを感じれるよう心掛けていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	送迎前に一日の流れや注意点など情報共有をし役割分担の確認を行っている。		引き続き朝礼を実施し確認を行っていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	些細なことも報告としてをまとめ情報共有に努めている。		引き続き支援終了後、個々の子どもに対する支援のフィードバックを行い支援の向上に努める。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の活動、支援、また支援に対して子どもの様子を記載し次回の支援計画に生かすよう努めている。		引き続き正確に記録出来るよう努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に個々の現状の様子をまとめ計画書の見直しを実施している。		引き続き定期的なモニタリングと計画書作成を行っていく。
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現状ほとんどの利用者がセルフプランの為、担当者会議は開催されていない。開催時には児童発達管理者が予定を調整し積極的に参加している。		引き続き管理責任者が会議に参加する。
2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		該当なし
3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		該当なし
4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	希望に応じてサポートブック作成の協力など対応している。		個々の子どもが円滑に生活ができるよう必要に応じて対応していく。
5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし		該当なし
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。		業務内容工場の為、研修の機会を増やせるよう調整していきたい。
7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない。	実施しておりません。	交流は行っていないが、機会があれば検証していく。

関係機関との連携

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。	実施しておりません。	予定なし
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用前の契約時に、説明を行っている。	「はい」の声を頂いた。	今後もしっかりと契約時に説明を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を提示しながら、説明、支援内容をお伝えしている。	「はい」の声を頂いた。	今後も丁寧な説明を心がけていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムとしてはないが、送迎時、電話での対応をその都度行っている。	面談を希望しペアレント・トレーニングの相談をした。	全体へのペアレント・トレーニングは行っていないが相談、助言は引き続き行う。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎日の送迎時や連絡帳を活用し報告、意見交換、必要に応じて電話での相談を実施し共通理解に努める。	送迎時に子どもの状況を教えてもらい共有が出来ている。	今後も共通理解が進むよう努め、改善点があれば検討改善していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	希望があれば随時相談を受け対応している。		送迎時、連絡帳、電話、面談を活用し対応していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	実施しておりません。	現在は保護者会等の開催予定なし
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった際は報告体制を整えており調査、報告、保護者への説明を行っている。	「ない。わからない。」が多かった。	迅速かつ適切に対応させていただいております。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	分かりやすく連絡帳や送迎時の伝達、必要に応じて電話などで丁寧に伝えるように努めている。	連絡帳、送迎時、必要があれば電話で情報伝達をしてくれる。	引き続き情報伝達のに努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報は発行していないが送迎時や連絡帳を活用し情報を発信している。	「ない。わからない」が多かった。	現在ある媒体を生かし情報発信に努めていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の扱いについての同意書を頂いたうえで鍵付きの書庫に保管をし注意している。	出来ているのお返事を頂いた。	引き続き守秘義務を徹底していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	利用前の契約時に、説明を行っている。	利用開始前に説明を受けた。	保護者への周知が進むよう努力する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	訓練日に職員の動きの確認をし本番を意識した訓練を実施している。	避難訓練を実施しているが訓練当日に登園していない子の保護者からは「わからない」のお返事をもらった。	保護者への周知が進むよう努力する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止をはじめとする研修を行い、ひと月に一度、虐待についてのチェックリストを活用し一人ひとり虐待がないよう意識付をしている。		引き続き研修し実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を実施した事例はないが、この事例については個別支援計画書にも記載し、保護者にも十分説明し理解していただけるよう説明をしている。		危険な場合やむを得ず身体拘束をすることがありますと、保護者に承諾は得ているが拘束の事例はない。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書はないが保護者からの申告により、職員が情報を共有し安全に配慮している。		他児の食事が口に入らないよう、職員の配置などを心がけている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例についてはノートに記載し、職員の情報共有を行い他の事業所での事例も周知し再発防止に努力する。		ヒヤリハットを利用し同じことが2度と起きないように心掛けている。